

26. ふしぎなひも

大阪市立科学館友の会 科学実験サークル 松木浩二

1. 子どもたちへのメッセージ

日本の「からくり玩具(がんぐ)」を知っていますか？ 今回は、この玩具の中で「ふしぎなひも」という伝承玩具(でんしょうがんぐ)をいっしょに作ってみましょう。

2. よういするもの

ラップの芯(長さ20cm、直径3cm ぐらいのもの)、ひも(ポリエステル製・太さ1.5mm 長さ30cm を3本)、リング(幼児用玩具で「チェンリング」を8本)、穴あけ用具(きり、千枚通し、アイスピックなど)、針金(ひもを通すものなので16番～20番がよい)、製本テープ(幅25mm、長さ11cm 2枚、なければガムテープでもよい)、ハサミ、のり、色紙

3. やりかた

右の写真のように、ラップの芯(しん)に3つの穴(あな)が開いていて、それらの穴からひもが出ています。1つのひもがのびて、出ています。そこで、どれか別のひもを引っばると出ていたひもが引っこみます。つぎに、ちがうひもを引っばると、今出ていたひもがまた引っ込むのです。

こうなると、ひものつながり方がわからなくて「う～ん???'と考え込んでしまいます。

4. わかること

ラップの芯の筒の中をのぞけば「なあ～んだ、そうなのか」としくみがよくわかります。

5. 気をつけよう

ラップの芯に穴をあけるときの、ケガをしないように注意してください。

6. 問い合わせ先

大阪市立科学館友の会 TEL 06-6444-5184

7. 参考になる資料

「たのしい授業」仮説社 1990年10月号 No.94

「ものづくりハンドブック 3」仮説社

